

学校名) ( ) 年 名前) ( )

①この記事にある自転車事故では、事故を起こした小学生の母親におよそどれぐらいの損害賠償を命じる判決がくだされましたか。

②この事故の原因は何だと、判決で認定されていますか。

③グラフからわかること書きまじょう。

④この記事を読んだ感想を書きまじょう。

# 事故の備え自転車も

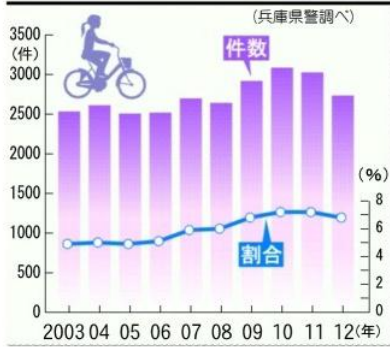
健康志向やエコブームで自転車の利用が増える一方、事故も増加している。神戸地裁では今年4日、小学5年生の男子児童が起こした自転車事故で母親に約9500万円の損害賠償を命じる判決(被告が控訴中)が出された。こうした高額訴訟に対応しようと、保険会社が相次いで自転車保険に参入。助成金を交付し、保険の加入を呼び掛ける自治体も出てきた。(前川茂之)

子どもが起した事故、頭の骨を折り、意識不明で保護者はどこまで責任を負うべきか。神戸地裁判決が重視したのは児童の保護者が日常から自転車運転の監督指導をしているかどうかだった。「両親の指導が奏功していなかったことを挙げ、」両親の指導が奏功していなかったことを挙げ、おらず、監督義務を果たさなかったとして、母親に賠償を命じた。交通事故に詳しい高山俊吉弁護士(東京弁護士会)は「自転車の安全マナーをきちんと子どもに教えるという保護者の監督責任を重くみた判決。裁判所が自転車事故に強

## 今月神戸地裁 9500万円の賠償命令判決

## 損保会社参入も 自治体助成も 保険加入呼び掛け

自転車事故件数と交通事故全体における割合 (兵庫県警調べ)



い警鐘を鳴らしている。今回の訴訟でも、母親は賠償保険に加入していなかったという。高山弁護士によると、自転車事故の増加に伴い、高額訴訟に発展するケースは増加傾向にあるが、補償金の支払われる自転車保険は自動車などの自賠責保険とは違い、強制加入ではないため、未加入の人も少なからず、賠償金を支払われるのを防ぐ日本交通管理技術

協会によると、08年度は1万2千件だった加入者が、12年度は2万8千件と1.7倍に増えた。三井住友海上火災保険では11年、自転車保険のコンヒレ販売を開始。年間4760〜1万1720円で最大1億円まで補償する。携帯電話で手軽に申し込める保険もあり、アクサ損害保険、チユーリッヒ保険なども相次いで参入している。保険加入を助成する自治体や学校もあり、東京都武蔵野市では自転車講習を受けた市民を対象に「TSマーク」に加入する際、1千円の助成券を交付。明石市の明石南高校や立命館大学などでは保険加入を学生に義務化した。宝塚市や福岡市などでは、自転車の安全運転に関する条例を制定。兵庫県も各地で自転車教室を催し、講習を受けた児童には自転車免許証を配るなど啓発に努めている。